

令和8年4月1日

令和8年度 荒川区立第一日暮里小学校 学校経営方針

校長 猪瀬 賢一

■荒川区学校教育委員ビジョン

○中長期目標

「未来を拓きたくましく生きる子どもを育成する」

○中長期目標を達成していくための方向性

【方向性1】 子ども一人ひとりのよさを伸ばし、学力を高める

【方向性2】 多様性を尊重し、豊かな感性と創造力を育む

【方向性3】 基本的な生活習慣を形成し、健全な心身を培う

○「荒川区学校教育ビジョン」の実現に向けた6本の施策の柱

- (1) 夢につながる主体的な学びを推進する
- (2) こころとからだの健全な育成を図る
- (3) 体験的な学習活動をととして、よりよい未来社会を築く
- (4) 教師が育つ学校をつくる
- (5) 学校・家庭・地域が強いスクラムを組んで子どもたちを育てる
- (6) 良好な教育環境と体制を整える

○第3期の重点事項

- (1)教員の働き方改革の推進・徹底
- (2)良好な教育環境の整備
- (3)ICT 機器等を効率的に活用した情報教育の充実
- (4)体験学習の一層の充実、家庭学習・補充学習の推進
- (5)すべての子どもたちが安心して学べる機会の確保
- (6)「荒川区豊かな心を育む読書のまちづくり条例」の制定を踏まえた読書活動のさらなる充実

1 第一日暮里小学校の教育目標と学校経営方針

「チャレンジする子」

この教育目標達成に向けて取り組み、児童に社会の中で夢をもって生きていく基礎を身に付けさせていく。そのために「高い志をもたせ、失敗をおそれず行動できる子を育てる学校」「読書を通して子供に考えを深めさせる学校」を目指す学校像とする。

2 目指す児童像

○もっと高く⇒「高い志をもつ子」

- ①自分が成長するための目標を決める。
- ②見通しをもつ。
- ③自己調整しながら、自分自身で学習を進める。

○もっと広く⇒「親切心をもって広く人と関わろうとする子」

- ①友達の言動を肯定し承認する(他者受容する)。
- ②意識を自分から周りの人に変えて、人が喜ぶことを考えて行動する。
- ③親切にしてもらったことに対して「ありがとう」を言う。

○もっと深く⇒「失敗に屈せず粘り強く取り組む子」

- ①長所も短所もありのまの自分を受け入れる(自己受容する)。
- ②プロセス(努力や経験)を振り返り、改善する。
- ③最後まであきらめずにやり遂げる。

3 目指す児童像に向けた教員の指導

- ・成長するための目標をもたせる指導をする。
- ・単元全体及び1時間の見通しをもたせる指導をする。
- ・自己調整させ、自分自身で学習を進めさせる指導をする。
- ・人権感覚や人権意識を高め、自分も友達を大切に作る指導をする。
- ・友達を肯定的に承認させる指導をする。
- ・人に親切にする指導をする。
- ・丁寧なあいさつと「ありがとう」を自然に言えるように指導する。
- ・ありのままの自分を受け入れさせる指導をする。
- ・プロセス(努力や経験)を重視する指導をする。
- ・失敗を次に生かす指導をする。
- ・最後まで粘り強く取り組ませ、自分で決めたことを諦めずやり遂げさせる指導をする。

4 今年度の指導の重点と具体的な取組

(1) 【もっと高く⇒「高い志をもつ子」の育成】

①目標やめあてをもたせた授業や行事の実施

- ☐ 学校や学級全体のめあて、個別のめあてをもたせて学習や行事に取り組ませる。
- ☐ 目標やめあてが、実現可能か確認させる。
- ☐ 目標やめあてが達成するように考えて実行させる。

②見通しをもたせた授業や行事の実施

- ☐ 単元計画を子供たちに示して授業を行う。
- ☐ 45分の流れを子供たちに示して授業を行う。
- ☐ 当日から逆算して、いつ、何をするのか予定表を子供たちに示して行事に取り組ませる。

③「個別最適な学び」を目指し、自己調整させ、自分自身で学習を進めさせる授業の実施

- ☐ 自分に最適な学習方法を考えさせる授業を行う。(指導の個別化)
- ☐ 自分に最適な学習内容を考えさせる授業を行う。(学習の個性化)

④タブレット PC や学校図書館のさらなる活用の推進

- ☐ タブレットタイム(金曜の朝時間)の計画(月ごと、学期ごと)に基づき、タブレット PC 活用能力を向上させる。
- ☐ 主体的に学習するため、調べ学習の充実を図るため学校司書と連携し、学校図書館を大いに活用する。

⑤英語教育の充実

- ☐ 発話の多い授業を目指し、講師を招聘し指導を受け、授業改善を図る。
- ☐ 身近で簡単な事からについて、自分の考えや気持ちなどを伝える活動を多くとる。
- ☐ 日常的に NEA に英語で積極的に話しかけるように指導する。

⑦家庭学習の充実

- ☐ 発達段階に応じて、宿題の出し方を工夫する。(例 一週間で 三日間で)
- ☐ 主体的に学習する大切さについて理解させ、自主学習に取り組む児童を増やす。

⑧読書活動の充実

- ☐ 推薦図書を読む指導をする。
- ☐ 友達が書いたおすすめの本を読み、感想や好きな文を書きあう。

(2) 【もっと広く⇒「親切心をもって広く人と関わろうとする子」の育成】

①他者受容の推進 (「協働的な学び」の実施)

- ☐ 授業後半に振り返りをさせ、それに対し肯定的に承認させる指導をする。
- ☐ 授業で学習した成果物等についてプロセス(努力や経験)を表出させ、それに対して肯定的に承認させる指導をする。

②学校行事を通して親切心を育む

- ☐ 学校行事の事後指導では、プロセス(努力や経験)を振り返らせ表出させる。友達のプロセスに対して、肯定的に承認させる機会を設ける。
- ☐ 運動会では、低・中・高学年での活動を多くし、上学年が下学年に助言する場を意図的に設ける。
- ☐ 遠足・集団宿泊的行事では、親切心をもって人間関係を築くよう指導する。

③特別支援教育の充実

- ☐ 前期に1回、後期に1回、特別支援教育の理解を深めるために授業を参観し、巡回指導教諭から自立活動について助言を得る。
- ☐ 障がいについての理解促進のため、学級活動や特別な教科 道徳、総合的な学習の時間等で年に1回以上、授業を実施する。
- ☐ 特別支援教育全体会や特別支援校内委員会を通し、支援を要する児童の理解を深める。また、指導の仕方を振り返る。

④礼儀を重んじる教育の推進

- ☐ 儀式的行事や朝会で、話の聞き方、立ち方、座り方を指導し、身に付けさせる。
- ☐ あいさつ活動週間を活用し、止まってあいさつができる児童を増やす。

⑤地域人材活用の推進

- ☐ 地域の方々等のゲストティーチャーを積極的に招聘した授業を展開する。
- ☐ ゲストティーチャーと関わらせる中で、意図的に「ありがとうございます」と言わせる場を設ける。

⑥異学年交流の充実

- ☐ たてわり班遊び等では、6年生が下学年に親切に接し、下学年は6年生に感謝の言葉を伝える指導をする。
- ☐ 幼稚園、保育所も含め、異学年との交流を積極的に設け、共に生活する意識を高めるとともに、下学年に親切にする体験をさせる。

(3) 【もっと深く⇒「失敗に屈せず粘り強く取り組む子」の育成】

①自己受容の推進

- ☐ 長所も短所も含め、ありのままの自分を受け入れる指導をする。
- ☐ 友達から承認してもらったことを自信につなげ、自分がどうありたいか考えさせる。

②プロセスを重視した教育の推進

- ☐ 「結果・成果」より「努力した過程」に重きを置く。
- ☐ 他との比較ではなく、本人の成長したところを見ていく。

③安心して話合いができる学級づくりの推進

- ☐ 安心して間違えられる雰囲気をつくる。
- ☐ 最後まで人の話を聞かせる。
- ☐ 発言するときのルールを徹底する(指名されたら返事をし、発言する)。
- ☐ 話す人の方に体を向けさせる。

④学級活動の充実

- ☐よりよい学校(学級)生活するための課題を見付けさせ、解決に向けて話し合わせ、協働して実践させる。
- ☐話し合い後や実践後に、振り返りをさせ、次につなげる指導をする。

⑤体験学習、体験活動の推進

- ☐失敗を恐れず、積極的に体験させる。
- ☐実際に見たり、行ったりする学習や活動を積極的に取り入れる。
- ☐体験後に振り返りをさせ、学びを深めさせる。

⑥群読の推進

- ☐各学年で取り組む高村光太郎の詩を暗唱させる。
- ☐各学年で取り組む高村光太郎の詩について考え、群読の仕方を話し合う。
- ☐群読を児童朝会や児童集会の場で発表する。